



LexisNexis Protégé™ in PatentSight+ : AI特許分析の新時代を拓く革新的アシスタント

2025年9月3日、LexisNexis Legal & Professionalが発表したLexisNexis Protégé™ in PatentSight+は、特許情報分析分野におけるAI技術の活用を大きく前進させる画期的なソリューションである。この新しいAIアシスタントは、従来の複雑な特許分析プロセスを簡素化し、知的財産専門家だけでなく、イノベーション主導の事業リーダーや経営層にも高度な特許インサイトへのアクセスを可能にする革新的な製品として注目を集めている。^{[1] [2] [3]}

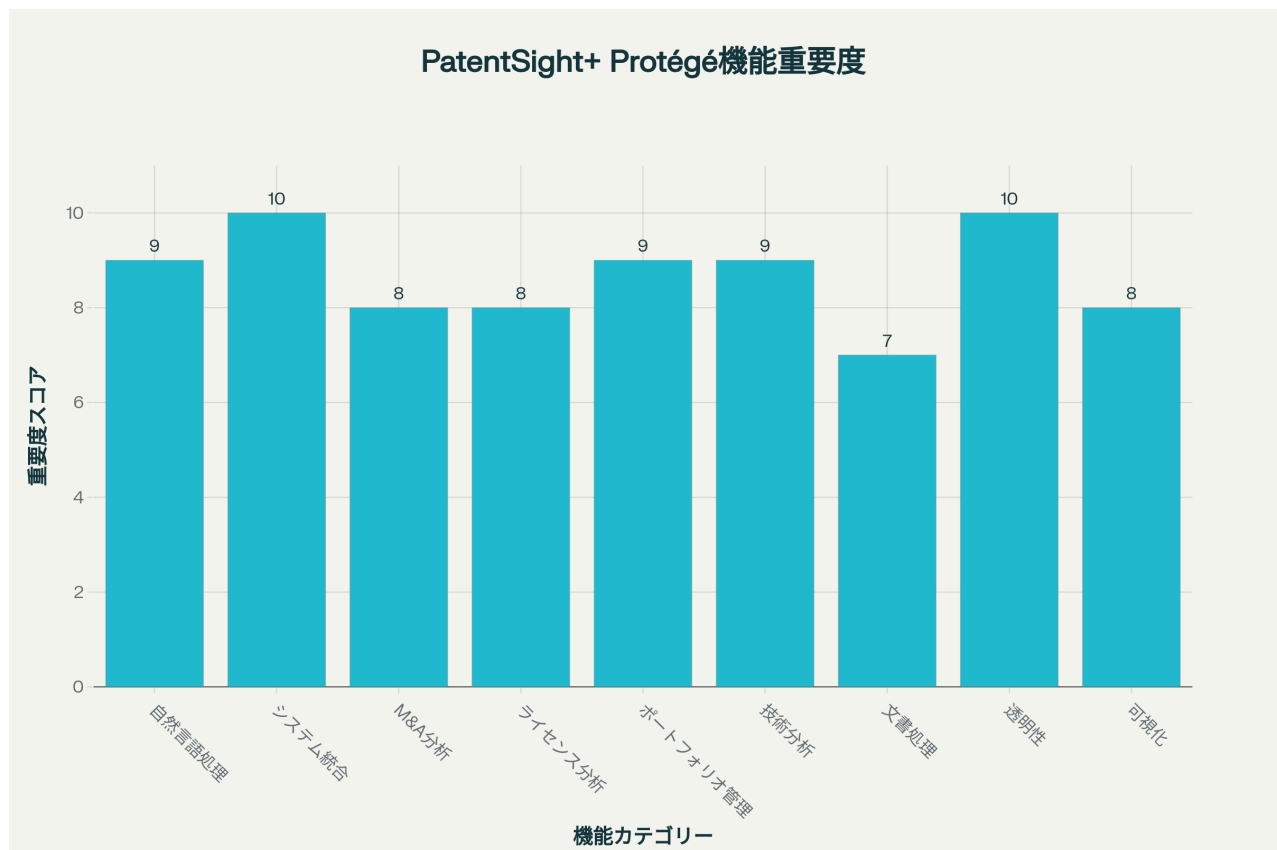
製品概要と核心技術

革新的なAIアシスタント機能

LexisNexis Protégé™は、単なるチャットボットではなく、**論理思考エージェント**として設計されている。ユーザーが自然言語で質問を投げかけると、Protégéはその意図を理解し、どのデータを対象にどのチャートを用いるべきかを論理的に考えた上で分析を実行する。この機能により、「電動モーター技術で業界をリードしている企業を教えてください」といった平易な質問から、適切なIPCコード（B60LやH02K）を自動的に割り出し、PatentSight+を活用した分析を実行することができる。^[4]

PatentSight+との完全統合

Protégéの最大の強みは、9000万件以上の特許ファミリーレコードを擁するPatentSight+統合グローバルデータベースとの完全な統合にある。このデータベースは、権利者情報の正規化、法的状態の追跡、そして業界で信頼されているPatent Asset Index (PAI) を含む100以上の属性と指標により強化されている。結果は取締役会レベルでの利用に適した明確な可視化として提示され、訴訟、財務報告、規制当局への提出、取締役会での意思決定において業界全体で信頼される信頼性を担保している。^{[1] [2] [3]}



LexisNexis Protégé in PatentSight+ 主要機能の重要度分析

日本市場への戦略的対応

従来、LexisNexisの新機能開発では英語対応を先行し、その後日本語対応を行うという順序が一般的であったが、今回は日本のお客様からの強いニーズと日本におけるIPランドスケープの重要性が製品チームに届いたことで、**英語と日本語を同時に対応する新しい開発体制**が採用された。これにより、日本のお客様にはリリース当初から日本語でサービスを利用できる点が大きな特徴となっている。^[4]

主要機能と活用シナリオ

実用的なユースケース

Protégéは以下のような具体的な質問に対して、迅速かつ正確な回答を提供する：^[1] ^[3]

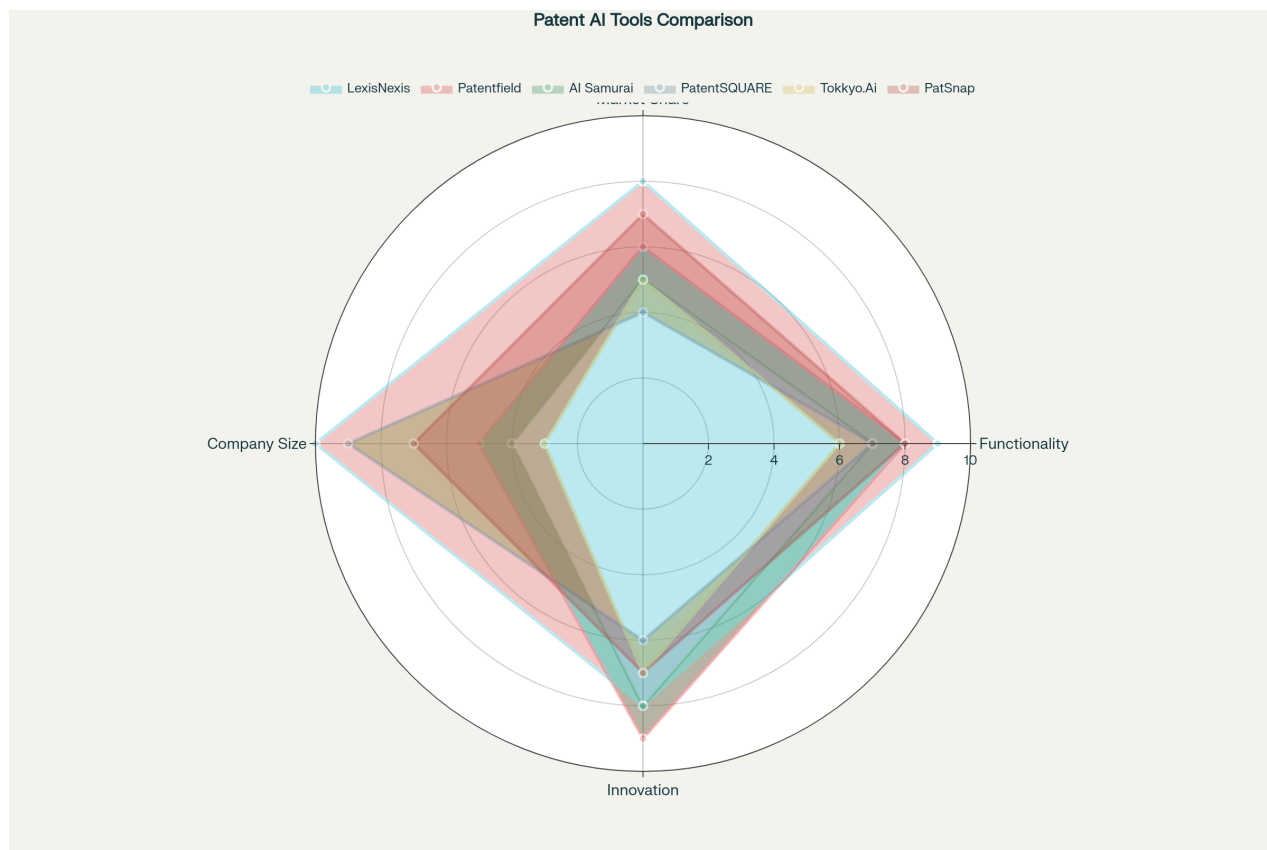
- 「バイオテクノロジー分野でのトップM&A候補企業は？」
- 「5G特許ランドスケープはどのように進化しているか？」
- 「私のバッテリー技術の潜在的ライセンスパートナーは誰か？」
- 「特許ポートフォリオ費用を削減する機会はあるか？」

特許要約機能の革新

特に注目すべき機能として、特許文書の自動要約機能がある。この機能は、単に特許の冒頭部分を抜粋して簡単にまとめるのではなく、全文を読み込んだ上で要約を行う点が特徴的である。要約結果は「課題」「解決策」「効果」という形で整理されており、利用者が最も知りたい情報が一目で分かる構成になっている。実際、この機能は日本のお客様から「特許を日本語で分かりやすく要約してほしい」という強いご要望を数多くいただいたことがきっかけで開発されたものである。^[4]

透明性と再現性の確保

一般的な生成AIツールの課題である「根拠の不明確さ」に対して、Protégéは画面左下に参考情報や主な検索キーワードを表示することで、どの情報を参照し、どの根拠に基づいてアウトプットを生成したのかを明示する。各回答には使用された完全な検索クエリが添付されており、PatentSight+内で完全に再現可能な設計となっている。^{[4] [1] [3]}



特許分析AI市場における主要ツールの競合比較

業界への影響とインパクト

特許分析業界の変革

特許分析ツール市場は2025年から2032年にかけて14.1%のCAGRで成長すると予測されており、AI特許検索市場も同様の成長軌道にある。この成長の背景には、特許データの膨大な量に対する解析ニーズの増大とAI技術の進化による効率向上がある。Protégéの登場は、この市場トレンドを大きく加速させる要因となることが予想される。^{[5] [6]}

従来の作業プロセスからの革新

従来2時間かかっていた特許文書の読解作業が、ChatGPTを活用することで15分で完了できるという報告がある中、Protégéはさらに一步進んで、単なる情報の自動生成にとどまらず、お客様の実務に直結する形で価値を提供するツールとして進化を遂げている。調査・分析時間を最大80%削減する効果が期待されており、専門知識がなくても高精度な分析を可能にすることで、属人化を防ぎ見落としリスクを低減することができる。^{[4] [5] [7] [8]}

競合環境と差別化要因

現在の特許分析AI市場には、Patentfield AIR、AI Samurai ONE、PatentSQUARE、Tokkyo.Ai、PatSnapなど多数の競合ツールが存在している。しかし、Protégéの差別化要因は以下の点にある：^{[9] [5] [10]}

1. **既存のPatentSight+エコシステムとの統合**：単独のツールではなく、実績ある特許分析プラットフォームの拡張として提供される
2. **業界標準のPAIスコア活用**：2010年から改良を重ねてきた科学的に検証された評価手法の活用^[11]
3. **グローバル企業での運用実績**：100以上のグローバル企業でのテスト実績^[12]
4. **企業規模と信頼性**：LexisNexisという大手法的情報プロバイダーの信頼性

評判と業界反応

業界専門家の評価

LexisNexis Reed Tech & Intellectual Property SolutionsのAndrew Matuch社長は、「Protégé in PatentSight+は、顧客が特許データと向き合う方法を一変させます。質問をしやすくし、意味のある回答を得ることで、Protégéは知財専門家が基礎作業ではなく戦略に焦点を当てることを支援します」と述べている。^{[1] [3]}

国内企業の先進的な取り組み

2025年5月に開催されたLexisNexis PatentSight+ Summit 2025では、島津製作所と京セラの生成AI活用の実用化の進捗の先進性が注目された。両社は推論モデルの最新の生成AIを使用しており、知財部門が独自に契約して使用している状況が報告されている。最新の生成AIを使いこなしている企業が良い結果を出している中で、島津製作所、京セラは日本企業の中でも知財領域での生成AI活用のトップグループと評価されている。^[13]

AI技術の信頼性とセキュリティ

Protégéでは、入力いただいた情報を学習データとして活用することはない設計が採用されている。生成AIをシステムに組み込む際には、入力データを学習に使うかどうかを設計段階で設定できるが、Protégéは入力情報を学習に使用しないことを前提として設計されており、入力内容やアウトプットが外部に流出するリスクは構造的に排除されている。^[14]

リリース計画と将来展望

段階的なリリーススケジュール

Protégé in PatentSight+は、2025年10月より現行のPatentSight+ユーザーおよびLexisNexis AI Insiderプログラム参加者を対象に限定的な先行トライアルを提供予定である。一般提供開始は2025年11月を予定しており、現在製品チームが開発を進めている段階である。^{[4] [1] [2]}

将来的な機能拡張

将来的には、出願情報や標準必須特許（SEP）の統合、チームごとのワークフロー最適化、高度な技術定義ワークフロー、カスタムデータ統合など、機能拡張を計画している。また、LexisNexisはProtégéを**PatentSight+プラットフォーム全体に組み込まれる知財アシスタント**として位置づけており、今後リリースされるさまざまな機能やサービスは、Protégéというアシスタントが広く支える形で展開される予定である。^{[4] [2] [3]}

国際展開とイベント戦略

LexisNexis Intellectual Property Solutionsの役員は、今後数ヶ月にわたって主要な業界イベントでProtégéをデモンストレーションする予定である。これには、IPO Annual MeetingやIP Dealmakers AI+Em Tech（米国）、Patent Information Fair and Conference（東京）、China Intellectual Property Annual Conference（北京）、PATent INformation EXpo and KINPA Conference（ソウル）、IP Service World（ドイツ）などが含まれている。^[3]

市場への戦略的インパクト

データ巨人による市場再編

Artificial Lawyer誌の分析によると、Protégéの登場は「データ巨人が金山を活用し、生成AIスキルを注入して新しい・改良されたオフリングを作る」事例として位置づけられている。小規模なスタートアップ競合にとって、これは挑戦となる。なぜなら、生成AIの展開は彼らが特許業務で真の進歩を遂げた分野だからである。Lexisが「特許データのキッチンシンク」をこれに投入することで、大手企業はいくつかの利点を持つことになる。^[14]

知財業務の民主化

Protégéの最も重要な影響の一つは、高度な特許インサイトへのアクセスを知財チームだけでなく、R&D、戦略、企業開発などの関係者にも拡大することである。直感的な操作により、市場評価、イノベーションのベンチマーク、知財資産と事業戦略の整合を可能にし、機能横断的なチームが市場の評価、イノベーションのベンチマーク、IPアセットとビジネス戦略の調整を可能にする。^{[1] [2] [3]}

結論

LexisNexis Protégé™ in PatentSight+は、特許分析業界における生成AI技術の実用化において重要なマイルストーンを示している。従来の複雑な特許分析プロセスを自然言語インターフェースで簡素化し、PatentSight+の実績ある分析能力と組み合わせることで、知財専門家から経営層まで幅広いユーザーに価値を提供する設計となっている。^{[1] [3]}

日本市場への戦略的対応、特に英語・日本語同時リリースの決定は、グローバル企業の日本重視の姿勢を明確に示しており、国内の知財業務のAI化を大きく加速させる要因となることが予想される。島津製作所や京セラといった先進企業の成功事例が示すように、最新の生成AI技術を積極的に活用する企業とそうでない企業との間で、知財業務の効率性と戦略性において大きな格差が生まれる可能性が高い。[4] [13]

2025年11月の一般提供開始に向けて、Protégéは特許分析業界のAI活用の新たなスタンダードを確立する可能性を秘めており、競合他社も追随する形でAI機能の強化を図ることが予想される。この技術革新により、従来の特許分析業務は大きく変革され、より戦略的で付加価値の高い知財活動に人的リソースを集中できる環境が整うことになるだろう。

※

1. <https://www.globenewswire.com/news-release/2025/09/03/3143559/0/en/LexisNexis-Announces-Protégé-AI-Assistant-in-PatentSight-to-Accelerate-Strategic-IP-Decision-Making.html>
2. https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2025-09-04-124984-12/
3. <https://www.lexisnexis.com/community/pressroom/b/news/posts/lexisnexis-announces-protege-ai-assistant-in-patentsight-to-accelerate-strategic-ip-decision-making>
4. 20250918-225450.docx
5. <https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/b4acb0b0a9c72fe9b2bd.pdf>
6. <https://pando.life/article/1805329>
7. <https://media.emuniinc.jp/2025/07/23/ai-patent-map/>
8. <https://media.emuniinc.jp/2025/07/25/ai活用で特許調査はここまで進化する/>
9. <https://note.com/tshioya/n/n73d154698a88>
10. <https://note.com/arisadaman/n/n24360aa71aa3>
11. <https://www.rdworldonline.com/protege-brings-query-free-workflows-to-patentsight/>
12. <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000007.000124984.html>
13. <https://yorozuipsc.com/blog/lexisnexis-patentsight-summit-2025>
14. <https://www.artificiallawyer.com/2025/09/03/lexisnexis-launches-protege-in-patentsight/>
15. <https://www.lexisnexisip.jp/products/protege/>
16. <https://www.lexisnexisip.jp/resources/region/japan/>
17. <https://www.legaltech-talk.com/lexisnexis-announces-protege-ai-assistant-in-patentsight-to-accelerate-strategic-ip-decision-making/>
18. <https://yorozuipsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/da06a1d47eeb6e2beae0.pdf>
19. https://prtimes.jp/main/html/searchrjp/company_id/124984
20. https://www.linkedin.com/posts/lexisnexisip_patentanalytics-artificialintelligence-activity-7369001804698722305-Wbj5
21. https://news.livedoor.com/pr_article/detail/29504061/image/49492935/
22. <https://prtimes.jp/topics/keywords/PatentSight>
23. <https://news.3rd-in.co.jp/article/dac77054-8922-11f0-93e2-9ca3ba083d71>
24. https://www.nikkei.com/compass/content/PRTKDB000000012_000124984/preview

25. <https://www.lexisnexis.com/community/pressroom/b/news/posts/lexisnexis-launches-protege-a-personalised-ai-assistant-with-agentic-capabilities-to-help-uk-lawyers-to-complete-legal-tasks-more-easily-and-efficiently>
26. https://x.com/PRTIMES_BIZ/status/1963390815600087171
27. <https://www.lexisnexisip.jp/resources/patentsight-summit-annoucement/>
28. https://x.com/Mijinko_shacho/status/1963395251537883385
29. <https://www.lexisnexis.com/en-int/products/protege>
30. <http://ism.vc/sb/log/eid280.html>
31. <https://hr.tokkyo-lab.com/column/pinfosb/tokkyobunseki-tool>
32. <https://www.lawschool.tsukuba.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2025/06/d60af10a83bb8c7e8a113f8db3562f66.pdf>
33. <https://yoroziupsc.com/uploads/1/3/2/5/132566344/ad7a2fe920f586e29ee1.pdf>
34. <https://yoroziupsc.com/blog/26272860>
35. http://www.jipa.or.jp/kaiin/kikansi/honbun/2022_03_403.pdf
36. <https://pando.life/article/2230946>
37. https://www.murc.jp/library/column/qmt_250910/
38. <https://patent-i.com/ja/wiki/analysis/>
39. https://www.jpo.go.jp/resources/report/takoku/document/zaisanken_kouhyou/2021_07.pdf
40. <https://www.shopowner-support.net/hr/personnel-recruitment/manufacturing-industry/patent-search-system/>
41. https://note.com/re_birth_ai/n/n48944080987f
42. <https://www.lexisnexisip.jp/solutions/ip-analytics-and-intelligence/patentsight/competitive-intelligence-benchmarking/>
43. <https://tenho7.jp/media/ai/66/>
44. <https://www.lexisnexisip.jp/resources/lexisnexis-announces-protege-in-patentsight/>
45. https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2025-09-04-124984-12/image/1/
46. <https://hackcamp.jp/news/expo-202509/>
47. https://note.com/voice_chizai/n/nc781fa68c48f
48. <https://pifc.jp/2025/report/>
49. <https://note.com/phasephi/n/nbf69fae5cbab>
50. <https://note.com/gaha9ben54/n/n0d83851e4907>
51. <https://techgym.jp/column/benrishi-ai/>
52. <https://pifc.jp/2025/visit/>
53. <https://patent-revenue.iprich.jp/専門家向け/1445/>
54. <https://nihon-ir.jp/patent-information-fair/>
55. <https://openlegalcommunity.com/uspto-ai-strategy-2025-key-insights-for-ip-professionals/>
56. https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/09/pifc2025map_v2.pdf
57. https://pifc.jp/2025/wp-content/uploads/2025/08/pifc2025presen_v5.pdf
58. <https://www.lexisnexisip.jp/resources/industry-events/>
59. https://qiita.com/k_nabe/items/4d531c0464e1f7c1986e

60. <https://ppl-ai-code-interpreter-files.s3.amazonaws.com/web/direct-files/d332f316392f1e2e858a31edb24b9cf1/503d1eba-929f-4cdf-aa3b-41cd8ecdc6fd/677d3f32.csv>
61. <https://ppl-ai-code-interpreter-files.s3.amazonaws.com/web/direct-files/d332f316392f1e2e858a31edb24b9cf1/503d1eba-929f-4cdf-aa3b-41cd8ecdc6fd/c829994d.csv>
62. <https://ppl-ai-code-interpreter-files.s3.amazonaws.com/web/direct-files/d332f316392f1e2e858a31edb24b9cf1/503d1eba-929f-4cdf-aa3b-41cd8ecdc6fd/1f64d75b.csv>